

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< A 区分 > 大阪城北詰・京橋駅自転車駐車場、桜ノ宮駅自転車駐車場、野江内代駅自転車駐車場、都島駅自転車駐車場、JR玉造駅自転車駐車場、新深江駅自転車駐車場、地下鉄今里駅自転車駐車場、鶴橋駅自転車駐車場、深江橋駅自転車駐車場、緑橋駅自転車駐車場、清水駅自転車駐車場、新森古市駅自転車駐車場、関目高殿駅自転車駐車場、千林大宮駅自転車駐車場、太子橋今市駅自転車駐車場、今福鶴見駅自転車駐車場、蒲生四丁目駅自転車駐車場、鳴野駅自転車駐車場、関目成育・関目駅自転車駐車場、放出駅自転車駐車場、横堤駅自転車駐車場、地下鉄玉造駅自転車駐車場、鶴見緑地駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局企画部方面調整課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち85%以上
指定管理者名	サイカパーキング連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	85%
年度実績	98.7%
達成率	116.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用台数（定期）	163,329	161,210	2,119
利用台数（一時）	3,027,352	2,894,509	132,843
利用率（定期）	74.1%	72.8%	1.3%
利用率（一時）	109.6%	107.6%	2.0%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	650,855,610	641,414,160	△ 60,578,390	新型コロナウイルスの影響でテレワーク普及し、利用者が減少したため。
	計画	711,434,000	711,434,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	650,855,610	641,414,160	△ 60,578,390	
	計画	711,434,000	711,434,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	270,528,009	272,270,743	21,523,009	計画時からの環境変化により機械化検討中の箇所に関する労働時間が増加したため。
	計画	249,005,000	242,157,000		
管理費	実績	418,079,109	377,693,735	16,169,109	想定以上の物価上昇による原価の高騰が生じたため
	計画	401,910,000	407,070,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	
	計画	—	—		
合計	実績	688,607,118	649,964,478	37,692,118	
	計画	650,915,000	649,227,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	116.1%	A	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：（駐輪場の利用しやすさ、整理、清掃、管理員の挨拶、対応、誘導、配置人数）
調査方法（期間）：セルフモニタリング（良い・普通・悪いの3段階評価） 新森古市駅を除く22駐輪場（令和6年1月15日～2月25日）
回答率：37.8% （22駅（配布2,800枚 回収1,058枚））
結果：良い・普通 98.7% 悪い1.3%

6 外部専門家意見

・利用状況が前年度と比べ若干増加しており、満足度も高い数値である点が評価できる。一方、定期利用の停滞は今後も継続することが明らかである。併せて物価上昇に伴う管理費の高騰も予想される。以上のことを踏まえ、管理者による人的・物的環境改善だけでなく、行政サイドも交えた今後の検討が必要と考える。
・前年度比較では利用状況は改善しているものの、計画比較では収入は△60,578千円(△8.5%)、支出＋37,692千円(+5.8%)、収支△98,270千円となり大幅な計画未達状態である。特に支出面は計画時から市場環境が大きく変わりやむを得ない面も考えられるが、収入面は抜本的・具体的な改善策が必要である。計画時と各駅の入流同行を比較し、本当に駅利用者が減少しているか検証する必要がある。また、一時利用は100%超が複数箇所あり全体的に利用率は高いが、定期利用は50%～80%が多くなっている。設置箇所ごとのニーズの把握を行い、従業員の利用促進を含めた企業との定期契約、レンタルサイクル事業者との提携等も視野に計画達成に対する具体的な施策が必要である。(管理員による定期利用の呼びかけだけでなく、上位レベルでの営業活動が必要)

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において「非常に良い・良い・普通」評価の割合が98.7%であった。 ・新たに導入したQR度数券については、相互利用できる駅が増えたことで、評価する意見がある一方、読み込みに時間がかかるとの意見もあり、サービス向上を利用者がより実感できるような管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・利用促進策等を実施することで、提案通りの基本納付金額を納め、計画通りの市費縮減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・放置自転車啓発活動を区役所、地元協議会、関係各所と実施し、放置自転車対策に寄与した。 ・利用者の多い施設を対象に、看板の美装化を行った。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施した。 ・管理人等の研修を当初計画どおり実施した。 ・就職困難者の雇用への取組みについては、約4名不足しているため、新規採用促進に努められたい。
総合評価	B	・啓発活動への多数の参加は大きく評価できる。 ・利用者の利便性向上などにおいて継続的な改善を実施しており、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。